



# ひよどりっ子

第53号  
R3.2.7

北区青少年育成協議会ひよどり台支部  
発行責任者：支部長 石井 静恵

編集・印刷：株式会社 北 欧

## コロナ禍の地域と子どもたち

鶯台中学校PTA会長 原田 浩一

昨年の新型コロナウイルス感染拡大によって、不要不急の外出を控えるよう政府から要請があったりと、いままでの生活と大きな変化があった一年でした。

PTA活動でも、例年通りの活動をする事ができず、PTAの活動が始まったものの、感染拡大の懸念から学校行事や地域のお祭りなどのイベントが中止でPTAとしての関わりが少なく、もどかしさを感じています。

PTA会長として地域の会議に参加し、地域の方々が春のこどもまつりや夏祭り、どんどまつりなどのイベントを開催するにあたり、毎月のように会議を行い、イベントの準備に大変な労力をかけてくださっていたことを知ることができました。新型コロナウイルスの終息したのちは、これらのイベントに積極的に参加したいと思いました。

そして、イベントだけでなく、毎朝の登下校、朝の立ち番、夜間パトロールの「見守る会」の方々の活動、こういった地域の方々の支えによって、安心安全なまちづくりが作られています。その成果の一つに、PTA役員会議で中学校に訪問した際、ほとんどの中学校の生徒が「こんにちは」と大きな声で挨拶をしてくれました。思春期特有の恥ずかしさがある年頃なのにひよどりの中学生は挨拶ができます。これはなかなかできることではないと思います。

また、緊急事態宣言が発令中のひよどりの子どもたちの様子を見ると、世の中で起きている出来事を冷静に受け止めており、一変した日常にストレスを感じていたにも関わらず、む

やみに出歩くこともなく、とても落ち着いて生活していたと思います。ひよどりの子どもたちが保護者や地域の方々、先生方に見守られながら素直に育っている証なのだと思います。

PTA活動を通じて地域の方々の活動を知ること、子どもを育てる環境としてはとても素晴らしい地域だと改めて確信しました。

まだまだ新型コロナウイルスの猛威が収まりませんが、明けない夜はありません。これからも地域一丸となって子どもたちを支えていきましょう。



## 印刷のお仕事

株式会社北欧

青少協の広報誌である「ひよどりっ子」。いつもでき上がったものしか見たことがないけれど、これってどうやって作っているんだろう？

今回は、「ひよどりっ子」を印刷してくれている株式会社北欧の若松さんに、6年生の記者がお話を聞いてきました。

まず、ひよどり台商店街に来て驚いたことは、印刷の会社と聞いていたのに入口はお布団屋さんだということ。「体操服を買いに来たことがある」と記者が気付きました。

若松さんから、「父が寝具の販売をはじめて40年になります。このひよどり台商店街では、約30年前から、寝具の販売や衣料品、小学校の体操服を販売してきました。また、4年前からは印刷のお仕事もするようになりました。」と教えていただきました。

記者たちが質問をする前に、若松さんから、「ひよどりっ子は、黒1色で印刷されているよね。真っ黒以外のグレー（ねずみ色）を、どうやって印刷しているか分かりますか？」と質問されました。

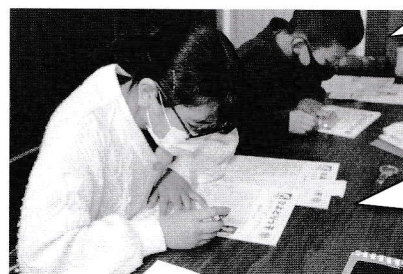
記者が困っていると「グレーの部分をこのルーペで覗いてみて」と、虫眼鏡のようなものを渡されて、覗いてみると…。

「黒い点々がいっぱいある！」

真っ黒の部分はインクで塗りつぶされていて、グレーの部分は網のような点々で印刷されているから、黒の部分とグレーの部分の区別ができるようになります。

また、カラー印刷の時は、「赤・青・黄・黒」の4色を混ぜて、色々な色を作って印刷しています。

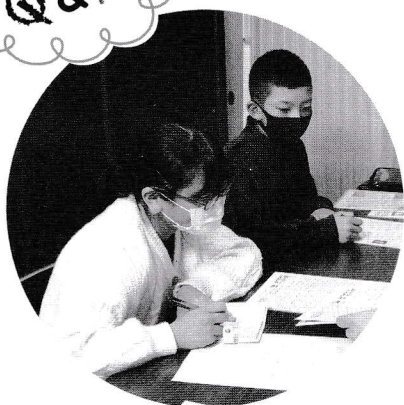
見たこともない点々の世界に、記者の2人はしばらく夢中になっていました。



黒い点々が  
いっぱいある!

ここからは記者2人が考えてきた質問に答えていただきました。

### Q&A



**Q** 原稿の文字の量は書けるだけ書いてもらってけずっているのでしょうか？ピツタリに終わっているのが不思議です。

**A** 書いていただいた文章を勝手にけずったり、足したりすることはありません。文章が少ない場合や多い場合は、文字の大きさや行間を調節したり、写真の大きさを調節します。それでもうまく入らない場合は、書いていただいた方に、文章をけずったり足したりすることをお願いします。

**Q** 印刷するとき気を付けていることは？

**A** デザインを作っている際に間違いが起こらないように注意しています。  
文字や写真の入れ間違いがないように、「校正」といって原稿とデザインしたものが違っているところがないか、また原稿自体が間違っていないか、しっかり確認する作業をしてから印刷をスタートします。

**Q** どういう気持ちで作っていますか？

**A** マンガや雑誌などを含めて印刷されたものは、伝えたい側の人と、受け取る側（読む）の人が必ずいます。私たちは、伝えたい側の気持ちを形にして、読む人にきちんと伝えるためのお手伝いをしています。よりわかりやすく、より伝わりやすいデザインやレイアウトをすることをいつも考えて作っています。

Q みんなが楽しめるようなものをどういうふうに  
伝えていますか？

A 読者が楽しめるように、とか、興味を持って読んでもらうようにするためには、まずデザインをする前に、文章の内容や写真をすべてしっかりとチェックします。そして、内容を理解した上で、楽しんでいただけたり、わかりやすいと思っていただけるようなレイアウトにして、読む人に対して、楽しい文章は楽しく、内容がきちんと伝わるように心がけています。



最後に若松さんから、「私は多くの文字たちと接する仕事をしています。多くの文章を読むことで、自然と言葉を覚えたり、また、言葉の意味を学ん

だりすることができます。皆さんもぜひ、図書館などの本をたくさん読んで、文字に親しんでください。」と言われました。

### 記者の感想

今回、株式会社北欧さんにお話していただいたことを聞いて思ったことは、ただ印刷しているのではなく、季節にあったイラストを使ったり、文字のまちがいがなにか確認したり、打ち合わせをしてそれをまとめたりなど、私たちに届けるためにこんなに大変な作業をくり返して、約4000部(ひよどりっ子全戸配布部数)を印刷してくれていて感謝したし、尊敬しました。

6年 御川 依央莉

12月10日に株式会社北欧で働いている代表取締役の若松さんに、たくさん質問して、北欧の会社で何をしているのか、くわしく知ることができました。その中でも心に残ることがあります。それは、北欧の会社で一度だけミスがあったということです。北欧が作った本の題名に問題がありました。その時は冷静に表紙を貼り替えて元に戻しました。ぼくは若松さんに印刷の秘密などたくさん教えてもらってうれしかったです。

6年 中俣 爽馬

若松さん、お忙しいところ色々教えて頂きありがとうございました。

御川さん、中俣さん、大変な記者を引き受けてくれてありがとう。お疲れ様でした。

(石井 静恵)

## 令和2年度 北区青少年を地域で讃える賞 表彰式

昨年12月5日北神区文化センターありまホールにて、「令和2年度北区青少年を地域で讃える賞表彰式」が開催されました。



ひよどり台からは防災ジュニアチームの活動が認められ受賞しました。代表として中1香西さん、小6小川さん・土江さんが出席してくれました。制服を着て表彰状を受け取る姿はとても凛々しかったです。

また、当日は欠席でしたが、6年生の黒田滯月さんも善行部門で受賞しています。

皆さんおめでとうございます。



# がんばろう “ひよどりっ子”

元支部長 高橋 貞美

## ■ ひよどりっ子の創刊

昭和56年2月、支部発足のお知らせの第1号を発行当時、ひよどり台支部は星和台支部の支部長が兼任されていました。機関誌のタイトルは「今日の青少年」で当初はB5判縦書きでの編集・発行でした。

## ■ 編集・発行の経過

平成17年2月の26号から「ひよどりっ子」と改称し、A4二つ折り4ページ横書きでの発行となり、平成20年から年1回発行から神戸市の助成を受けて2回発行にすることができるようになりました。

平成22年からは子どもによる編集・発行か、子どもの原稿が掲載されていることが助成金の支給要件となったので子どもの感想文を載せることとなりました。そして、小学校PTA・中学校PTAが交互に編集を担当していただくことになりました。

「ひよどりっ子」の名称は団地内の他の団体の中で団地内すべての子どもを対象とした青少協にふさわしい名称として「ひよどりっ子」を考えて役員会に諮り決めました。

小学校・中学校の関係者に加えて、子どもたちにかかわっていただいています青少協の各種構成団体の方に原稿の寄稿をお願いしてきました。

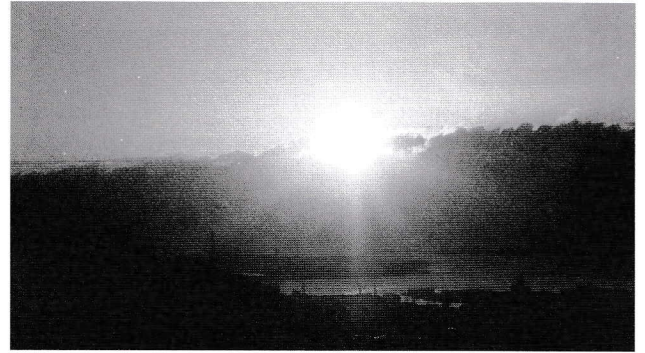
印刷していただける業者もいろいろ変遷してきています。途中にはひよどり台に在住の印刷会社の方にもお願いして発行してきました。

## ■ ひよどりっ子の配布

育成委員の手により団地内全戸に配布しており、北区青少協支部長会で北区内の全支部に配布もしています。

ひよどり台ふれあいのまちづくり協議会のホームページに平成25年10月の第38号からアップしていただいています。

これからもひよどり台の皆さまに読み継がれていきます機関誌に！



## ひよどり台支部活動報告

### 令和2年

- 10.4 青少協第2回支部会議  
広報誌 No.52発行(ひよどり台全戸配布)
- 12.2 クリスマスツリー飾り付け(ひよどり台会館)
- 12.5 青少年を地域で讃える賞授賞式

### 令和3年

- 1.9 竹伐り
- 1.11 どんどこまつり  
早朝より青少協の各団体、少年野球、小・中PTA、BS等の皆さまの協力で準備・実施
- 2.7 青少協第3回支部会議(中止)  
広報紙No.53発行(ひよどり台全戸配布)

- 登校時毎日・下校時随時の通学路の交通安全指導
- 定例の夜間パトロール(第3・4金曜、育成委員による)
- こども110番の家・店  
小学校PTAのご尽力で、現在ひよどり台南町を合わせて179か所のご協力をいただき地域内に所在し、子ども達の安全を見守っていただいています。
- ひよどり台小学校のこどもたちを見守る会
- ひよどりっ子のびのびひろば(1・2年生毎週木曜日)
- ひよどりふれあい懇話会
- ひよどり台支部役員会



6年生のひよどり台太鼓を披露していただきました

## 編集後記

春の行事をお知らせする号です。新年早々のお忙しい中でのお願いにかかわらず、原稿をお寄せいただき、ありがとうございます。紙面をお借りいただき、厚くお礼申し上げます。

子どもたちの取材記事も、どうぞご覧願います。

(中学校PTA)

ふれあい春の子どもまつりは、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、中止とさせていただきます。